

福田 茂夫

会計事務所 で

働く人 のために

―― 社長が元氣になれば会社は良くなる
その社長を元氣付けられるのは会計人である――

改訂版

元気か
いちばん



社長が元氣になれば

会社は良くなる

その社長も元氣付けられれば

会計人である



改訂版

会計事務所で働く人のために

—— 社長が元氣になれば会社は良くなる

その社長を元氣付けられるのは会計人である ——

●はじめに……………4

●第一部 会計事務所コンサルタントへの道……………7

第一章 私は会計事務所・会計人コンサルタント……………8

第二章 会計人の一燈を掲げる……………19

●第二部 顧客の創造……………25

第一章 会計事務所の元氣をなくす6種の薬……………26

第二章 社長が抱く会計事務所への六大不満……………34

●第三部	会計事務所が成長発展する体制創り	43
●第四部	経営に役立つ会計	53
第一章	back to basic (基本に戻れ)	54
第二章	熱い想いを込める月次決算書の説明	78
第三章	説明を形にする「元氣玉ワンシート」	91
第四章	業績別・月次決算書説明における着眼点	108
第五章	経営の改善は勘定科目の改善なり	121
第六章	会計事務所の現状と元氣玉経営監査サイクル	136
第七章	「元氣玉経営方針書の創り方」	146
第八章	利益計画はインタビュー技術が決め手	157

第九章 「元氣玉経営計画発表会」開催マニュアル	174
第十章 山田方谷に学ぶ会計人の在り方 (不況に打ち克つ不変の法則を学ぶ)	180
●第五部 新規拡大戦略	225
●第六部 元氣がいちばん	243
第一章 にんげん貸借対照表	244
第二章 私の人生の師	249
第三章 元氣がいちばんで生きる	253
●あとがき	260

●はじめに

一燈掲げて暗夜を行く。暗夜を憂うこと勿れ。ただ一燈を頼め。「言志四録」佐藤一斎 著

私の一燈は、「社長が元氣になれば会社は良くなる、その社長を元氣付けられるのは会計人である。元氣会計人を養成し、日本の中小企業を元氣会社に導くこと」です。

会計事務所に14年間勤め、たとえ税理士の資格をもっていなくても元氣会社になって欲しいという熱い想いを込めて、仕事に取り組んでいけば、会計事務所の仕事は実にやりがいがあり、人生を懸けるに足る仕事はない。しかし、それに氣付かず黙々と帳面整理のみしている会計人、元氣のない会計人がなんと多いことか。かつての私もそうだったからこそ、私は日本の会計人を元氣にしよう。会計事務所コンサルタントになろうと志を掲げて、日本で唯一の会計人を積極的・やる氣にさせる元氣玉セミナーと、会計事務所の業績を上げる会計事務所・会計人コンサルティング業を生業として独立して28年が経ちます。

私には会計人として生きることの幸せのメッセージを全国の会計事務所で働く人達に伝える役割があるのではないかとという自負が芽生え、今まで体験したこと、考えていることを集大成してまとめてみたいという思いが込み上げてきて「改訂版 会計事務所で働く人のために」と題して、刊行いたしました。

会計事務所働く人は、会計、税法に照らし合わせて冷静な判断をする能力と、赤字は黒

字、黒字はより黒字に導くために、熱い想いを込めて月次決算書の説明をして氣付きを与えられる能力が必要です。この本は、会計事務所に働く人に、元氣会計人になっていただき、日本の中小企業を黒字に導く実務ノウハウを中心に書きました。

中小企業経営者の多くは、会計事務所に要望することは、税務の相談と指導、そして我社をよく見てほしい。つまり具体的には「早く・月次決算書を・作って・届け・説明してほしい」という当たり前のことをしてほしいのです。

会計事務所経営者は、この当たり前のことを愚直に徹底的に掘り下げて、会計事務所働く人なら誰でもができる体制創りをしていただきたい。社長が元氣になれば会社は良くなる。その社長を元氣付けられるのは会計人以外おりません。

己の一燈を掲げて自分磨きの実践を通じて元氣会計人になっていただきたい。志と実務スキルが相まって暗夜の一燈になります。会計事務所働く人達が日本を元氣にする役割を担っております。この本が元氣会計人として大成される道しるべの一助になれば幸いです、望外の喜びであります。

福田 茂夫





子曰く、歳寒くして、然る後に松柏の彫むに後るるを知る
『論語』子罕第九より